

ごみ焼却施設における電気料金の削減(松山市)

【取組概要】

南クリーンセンター焼却量減少に伴い、発電電力量が激減することが見込まれていたが、発電機制御方法の変更や蒸気収支を見直した結果、発電電力量は増加し、大幅な経費削減を実現した。

人口 517,711人

担当部署 環境部 清掃施設課
南クリーンセンター

【取組みの効果】

蒸気の有効利用により発電電力量が増加したため購入電力量が減少した。また、余剰電力も発生することとなり、売電も可能となった。

この結果、制御方法の変更前と比べて、平成25年度実績で約4,810万円の経費節減となった。



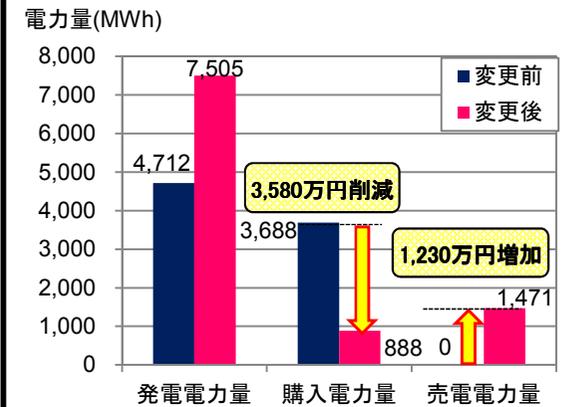
ごみ焼却施設(南クリーンセンター)

【他団体へのアドバイス】

発電量を増加させるには高効率の発電設備に更新することで可能となるが、実現には多額の費用が発生するため、既存設備を有効に利用し、できる限り経費を抑えて発電電力量を増加させることが現実的である。

【創意・工夫した点】

制御システムの老朽化に伴う更新に併せて発電機制御方法の変更等を実施するとともに、既存設備を最大限に利用することにより改修費用を最小限に抑えた。



変更前後の各種電力量推移(H25年度実績)